「視聴解＆表現Ⅱ」　　　　7/30「とけて　（１）春・夏」

名前　　　陳　文菲

をして、問題1～５を解いてみましょう。は、Ｚｏｏｍでします。

動画：　https://www.nhk.or.jp/kokugo/classic/?das\_id=D0005150083\_00000

**問題１　動画では「雪とけて村いっぱいの子どもかな（）」の句はどのように説明されていましたか。次の文の（　　　）を埋めてください。**

春が来て、（　　雪　）がとけ、子どもたちが大（　　喜び　　）で、外で遊び始めた。村じゅう、子どもでいっぱいだ。

（　江戸　　）時代の信濃の国、今の（　長野　　）県に小林一茶という人がいました。一茶が村の（　　　　風景　　　　）を見てよんだのが、この俳句です。

**問題２　俳句には「」が使われています。動画に出てきた春の季語を４つ以上、書いてください。**

雪どけ　ふきのとう（食べられるし、見かけもできる）　うめ（梅）　つばめ

つくし　さくら　おぼろづき　菜の花　木（こ）の芽

ふらここ（ふらんこ）　風船　春風

**問題３　動画では「」はどのように説明されていましたか。次の（　　　　）を埋めてください。**

　歳時記には春、夏、秋、冬を（　　表す　）言葉が書いてあります。江戸時代の歳時記を見ると、（　　当時　　）の人たちがどんな言葉に（　　季節　　）を感じていたかがわかります。そして今の歳時記には新しい季語も（　　　登場　　）しています。４月に行われる（　　　入学式　　）は春の季語。「アイスクリーム」は（　　夏　　）の季語です。

**問題４　動画では****「****雪とけて村いっぱいの子どもかな（）」「菜の花や月は東に日は西に（）」「ふらここの会釈こぼるるや高みより（）」「風船を手放すここが空の岸（）」「ひっぱれる糸まっすぐや甲虫（）」等の俳句が紹介されていました。**

**上の五句のうち、あなたが気になった（好きな）俳句を教えてください。また、その理由を書いてください。**

私は上田五千石さんの「風船を手放す、ここが空の岸」が一番好きです。

なぜかというと、風船の「船」という字を船（ふね）の意味で理解すると、「ここが空の岸」という言葉の、空気を水に例える意図が気づいて、なんか魚の視点から、自分たちは魚にとっての水の中に生きているような感じがでて、想像力がある、それとも面白い例えですねって思う。

**問題５　以下の（一）～（三）の俳句の（　　　　）にはどんな言葉が入ると思いますか。あなたがふさわしいと思う言葉を書いてください。**

**ヒント：（一）は三音の春の季語、（二）は四音の夏の季語、（三）は四音の名詞**

1. さまざまの思い出す（　雨水　）かな
2. （　　あやめ　　）にの来て止まる
3. （　　先生　　）がのに立っていた